

植物成長調整剤
住友ジベレリン粉末
ジベレリン水溶剤

令和7年5月14日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・作物名「ぶどう（ポンタ）」を追加し、それに伴い、作物名「ぶどう（キングデラ、ハニーシードレス、BKシードレスを除く3倍体品種）」を「ぶどう（キングデラ、ハニーシードレス、BKシードレス、ポンタを除く3倍体品種）」に変更する。

【変更部分】

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (キングデラ、ハニーシードレス、BKシードレス、ポンタを除く3倍体品種)	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30 ～ 100 L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	3回以内、 但し 降雨等により再処理 を行う 場合は合計 5回以内
	着粒安定 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 25～50ppm 第2回目 ジベレリン 25～50ppm	—	満開時～ 満開3日後 (第1回目) 及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し 降雨等により再処理 を行う場合は 合計4回以内	第1回目: 花房浸漬 第2回目: 果房浸漬	
ぶどう (ポンタ)	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30 ～ 100 L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	
	着粒安定 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 25～50ppm 第2回目 ジベレリン 25～50ppm	—	満開時～ 満開3日後 (第1回目) 及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し 降雨等により再処理 を行う場合は 合計4回以内	第1回目: 花房浸漬 第2回目: 果房浸漬	
		ジベレリン 100ppm		満開3～6日後	1回、但し 降雨等により再処理 を行う場合は 合計2回以内	花房又は 果房浸漬	

次頁へ続く

前頁より続く

使用上の注意事項の変更

【変更事項】

●ぶどう

- ・本剤をぶどう（2倍体米国系品種）に無種子化・果粒肥大促進の目的で使用する場合は、第2回目処理を浸漬で行うときは100ppmで処理すること。また、第2回目処理を散布で行うときは75～100ppm（80～100L／10a）で処理すること。散布で行う場合、散布処理は浸漬処理に比べ果粒肥大がやや劣ることがあるので、健全な樹に対して行い、薬液が果房に十分かかるように注意すること。
- ・本剤をぶどうの果房伸長促進の目的で使用する場合は、必ず花房だけを目がけて花房全体が十分濡れる程度に部分散布すること。
- ・この時期に誤って大量の薬液が枝や葉にかけると、その翌年に発芽不良などの新梢の生育障害が起こるおそれがあるので、動力噴霧機やスピードスプレーなどによる全面散布は行わないこと。
- ・ぶどう（ポンタ）へ満開3～6日後に着粒安定、果粒肥大促進の目的で使用する場合は、開花期に低温が続く場合は花ぶるいのため着粒が安定しない場合があるので注意すること。

●かんきつ

<花芽抑制による樹勢の維持>

- ・ジベレリンの使用濃度を2.5ppmで使用するときは、マシン油乳剤60～80倍液に加用すること。

●温州みかん

<花芽抑制による樹勢の維持>

- ・ジベレリンの使用濃度を2.5ppmで使用するときは、マシン油乳剤60～80倍液または展着剤に加用すること。

●ワシントンネーブルの落果防止の目的で使用する場合は次の点に注意すること。

- ・通常幼果1果当り小型噴霧器で0.1～0.2mL程度を噴霧すること。

●ばれいしょ

- ・種いも切断後の処理は薬害を生じるおそれがあるので、必ず種いもを切断せずに処理すること。
- ・浸漬時間が長くなったり、高濃度液に浸漬すると薬害を生じるおそれがあるので所定の浸漬時間及び使用濃度を厳守すること。
- ・薬剤処理した種いもは長時間ぬれたままにしておくと発芽遅延等の薬害を生じるので、風通しのよい場所ですみやかに乾燥させること。
- ・種いもを切断する場合は処理した薬液が十分乾いてから行うこと。
- ・薬剤処理した種いもは食料又は飼料には使用しないこと。

●花き

○てっぼうゆり

- ・球根の低温処理は8～13℃ 7週間とするが、本剤によって発芽が早まる場合があるので、発芽状態を見ながら発芽が始まれば、7週間が経過していなくとも出庫すること。

次項へ続く

前項より続く

○すぎ及びひのき科の採種木

・樹高が高く葉面散布が困難な場合は、樹幹基部剥皮挿入法で処理すること。処理の時期は7月初め頃が適当である。処理は樹幹基部3ヶ所に幅約1～2cmの辺材部に達する傷をつけ、形成層の内側で木部に多少かかるように剥皮し、所定量の本剤粉末を挿入して、剥皮した樹皮でふたをし、ビニールテープ等でしばっておくこと。なお、使用量は樹の大きさに応じて適宜加減すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社